## 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合小学校】

電音生徒の

6	次年度への課題と学力向上策	
知識·技能	次年度に向けて	
思考·判断·表現	未評価 (3月)	

<u>(1)</u>	今年度の課題と学力向上策				
	学習上・指導上の課題		学力向上策【実施時期·頻度】		
	<学習上の課題> 募数「変化と関係」 <指導上の課題> 学年が上がるにつれ理解の定着率が低下している。修得した内容を活用させることで理解を確実にしていく必要がある。	_	該当領域の学習時期に、授業の始めに前時の学習を振り返ったのちに本時の課題へつなげることで、既習内格の定着化及び既習内格を活用した学習へと関連 付ける。【毎時間】 書き込み式ドリルやドリルバーク、習熟度に合わせたプリント等を活用した学習機会を確保することで、個々の課題に合った学習ができるよう指導する。【週に 1度】		
心气'刊剧'衣况	<学習上の課題> 国語「着くこ」 算数「データの活用」 〈指導上の課題〉 国語では昨年度より課題として重点指導をしている。向上 はみられているので、継続的な指導が必要である。算数は グラフの活用に課題がみられる。複数のグラフの特徴を捉 え、効果的に活用する学習活動の充実が必要である。	1	国語では、書く活動に取り組む際、評価の観点をワークシートとして配付若しくは、データ上で関節で削にすることで常時確認できるようにするとともに、共同編集等を活用した協働的な学びの時間を設定する。【書(単元の際に毎回】算数では、書き込み式ドリルやドリルパーク、習熟度に合わせたプリント等を活用した学習機会を確保することで、個々の課題に合った学習ができるよう指導する。【週に1度】		

## <小6·中3>(4月~5月)

5	評価(※)	調査結果学力向上策の実施状況	
知識·技能	(1) (2) (3)	店果分析(官埋職・字年王仕等) 詳細分析(学年・教科担当) 分析 <u>共有(</u> 児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	J 2
思考·判断·表現		結果提供(2月)	

A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

4	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考·判断·表現	

全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察) 国語では、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」の時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く問題において課題がみられた。選択肢が表現している文の意味を正しく読み解いていないため、出てきた言葉・単語のみに注目するのではなく、それらが文となったときに何を表現しているのかを読み解く力の育成が必要である。 学力の向知識・技能 算数では、「A 数と計算」の数直線の1目盛りに着目して分数で表す問題において課題がみられた。誤った分母で解答していたため、数直線の1目盛りが整数の1を何等分しているのかを捉える力の育成が必要である。 国語では、「C 読むこと」の目的に応じて文章と図表を結び付け、必要な情報を見付ける問題において課題がみられた。話合 いの内容を正しく読み解かず、出てきた言葉・単語に注目して解答していると考えられるので、ひとつのまとまり(例:場面、段 落、吹き出しか何を表現しているのかを読み解く力の育成が必要である。 算数では、「A 数と計算」の分数の加法について、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する問題において 思考·判断·表現 課題がみられた。共通する単位分数が何になるかという通分について記述するのみになってしまい、単位分数の幾つ分かに

ふれていないという誤答が多かった。問題文が何を求めているかを正確に捉える力の育成が必要である。

		0 1 1 1 1 1		CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF
	3	3)分析五	中間期報告	中間期見直し
		評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期·頻度】
	知識·技能	В	接業開始時における前時の振り返りにより、既習内容の 定着化及び既習内容を活用した学習への移行は学校全 体に定着してきている。また、ドリルやドリルバーク、プリ フト等を活用した学習習慣も定着してきており、休み時 間や自習時間、放譲後の家庭での時間を利用して主体的 に学習する児童が増加した。	変更なし
	思考·判断·表現	F137.1	評価の観点を閲覧可能にすることが常胞化されてきて、 学力向上策にあげた国語『書くこと」だけでなく多くの教 料・領域でも評価の観点を示した授業が増加した。また、 児童も評価の観点を意識しながら学習に臨むようになっ た。ドリルやリルバーク、ブリント等を活用した学習習 慣は、知識・技能でも記述したとおり主体的に学習する 児童が増加した。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)